

人柄と声

昨夜

宇留般ゆび人が消えてゆく <sup>抑</sup>物理の

アナウエサ、の胡鏡がびつた

はじめて時間つふした何げなく 耳としていた

が いう、の何と水その世界にひきこられた

般内び人が消えてゆく 副般長の困惑 おどろ

き 知理能力 一人又一人と消えてゆく

同僚への <sup>思い</sup> 察り おそろしさ

それ <sup>自分</sup> 分のニヒク <sup>うた</sup> せよつて果は

それ <sup>次</sup> はどうなるの

どうして <sup>う</sup> いるいの

びきく <sup>こころ</sup> して目ぼつちり <sup>共有</sup> していく自分

がいた

夜中 <sup>エ</sup> びかっ 階ごうた

ウケー <sup>ア</sup> びた <sup>ア</sup> びの 胡鏡た

どろ <sup>道</sup> ち <sup>ア</sup> びは <sup>す</sup> びい

胡鏡は <sup>晴</sup> 況を <sup>把</sup> 握して <sup>い</sup> る <sup>その</sup> 声 <sup>が</sup> 去 <sup>る</sup>

が <sup>た</sup> び <sup>び</sup> びい

す <sup>び</sup> い <sup>跡</sup> を <sup>さ</sup> く <sup>二</sup> び <sup>ぶ</sup> 去 <sup>来</sup> した

夜の深夜 <sup>は</sup> び <sup>さ</sup> り <sup>し</sup> び

毎夜ちかづきアナウシの音が担当する

耳のたぶとま 海も欠けるときも

しかしその人の映像がけりきりつたかうて

来る

その声、そのはるしき

相手をつづみこむううな思いやりがみえられて

いゝ 今一人芝居の番りのすきマナウと

担当が終る所の二とぼも人柄をあらわす

今日一日何かと二とぼといひいひ

二とぼの今日のといふ日を土印に

し下さいし その人柄をあらわして

表二とぼ、土印

2021  
6/2